

感 染 症

相双地域感染症発生動向調査週報(2025年第42週)

(令和7年10月13日～令和7年10月19日)

令和7年10月23日

定点報告(上段:定点当たり／下段:報告数)、全数報告(報告数)		2025年					2024年 合計	2023年 合計
区 分	疾 病 名	39週	40週	41週	42週	合計		
定点報告	インフルエンザ	－	3.33	3.33	10.00	－	－	－
		0	10	10	30	1,272	1,616	2,660
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	4.00	5.67	4.67	4.33	－	－	－
		12	17	14	13	1,071	3,622	2,663
	RSウイルス感染症	2.50	－	0.50	1.00	－	－	－
		5	0	1	2	151	309	425
	咽頭結膜熱	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	75	337	129
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	－	－	1.50	1.50	－	－	－
		0	0	3	3	216	657	237
	感染性胃腸炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	427	610	988
	水痘	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	3	6	1
	手足口病	0.5	－	－	0.50	－	－	－
		1	0	0	1	15	952	129
	伝染性紅斑	3.00	3.00	－	3.00	－	－	－
		6	6	0	6	128	0	8
	突発性発しん	－	－	－	1.00	－	－	－
		0	0	0	2	51	182	266
	ヘルパンギーナ	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	4	19	319
	流行性耳下腺炎	－	－	－	0.50	－	－	－
		0	0	0	1	9	13	15
	急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	－	－	－	1.00	－	－	－
		0	0	0	1	2	9	13
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	14	1	3
	クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	1.00	1.00	5.00	1.00	－	－	－
		1	1	5	1	15	16	1
	無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ入院	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	15	19	10
	新型コロナウイルス感染症(入院)	－	1.00	13.00	－	－	－	－
		0	1	13	0	47	120	19
	急性呼吸器感染症(ARI)	57.67	97.00	69.33	91.67	－	－	－
		173	291	208	275	5432	－	－
全数報告	百日咳	5	4	0	2	120	0	0

カラー流行表示は、福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)の表示をそのまま表示しています。

定点把握疾患	<u>インフルエンザと 伝染性紅斑</u> の流行が見られます。
全数把握疾患	<u>百日咳 2名(学童1名、10代1名)</u> の報告がありました。
インフルエンザ	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して増加しました。 全国的に流行期入りしており、県内でも増加傾向が続き、特にいわき市で急増しています。今後、気温や湿度の低下と併せて、感染者数の更なる増加が見込まれます。インフルエンザに感染すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が現れ、喉の痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。普段と体調が異なる場合には出勤や登校を控えるなど体調管理に留意するとともに、基本的な感染対策の徹底をお願いします。
新型コロナウイルス感染症	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して減少しました。 県内では、昨年と同時期と比べ、やや多い状況です。他疾患と同様、基本的な感染対策が重要です。
百日咳	本県で17名の報告がありました。 減少傾向にはあるものの、本県及び全国で、例年と比べ報告数の多い状況が続いています。予防には、5種混合ワクチン等の定期接種が有効ですが、接種後数年が経過した人で発病することがあります。主な感染経路は飛沫感染や接触感染とされており、手洗いやマスクの着用など基本的な感染対策が有効です。
結核	本県で3名の報告がありました。報告が続いています。 昨年の同時期と比較して感染者数が多く、高齢者や若年の外国出生者が多くを占めています。早期発見のため定期健診を欠かさないようにし、咳や痰の症状が長く続く場合は医療機関を受診しましょう。

(参考・引用)福島県感染症発生動向調査、感染症週報、2025年第42号